

令和2年度 教育課程研究指定校事業（国立教育政策研究所）  
令和2年度 尾道版「学びの変革」推進事業

**令和2年度 国立教育政策研究所  
教育課程研究指定校事業研究協議会**

**広島県尾道市立長江小学校**

# 学校の所在地

小林和作旧居

長江小学校



長江通り

銀が港まで  
運ばれた道

良神社



御袖天満宮



大山寺

スミレ幼稚園



福善寺



千光寺



商店街

金剛院



んが坂



茶房 こもん

坂のまち

ネコのまち

尾道ラーメン



映画のま

坂道と

庭的都市



Amazing World  
千年先まで進むべき道を照らす寺  
中国観音霊場第十番札所 大宝山 極楽院  
千光寺

詳しくはこの画像をクリックしてください。

I 研究の概要

II 取組の具体

III 研究の成果

IV 今後に向けて



## 学校教育目標

心豊かに たくましく生きる長江っ子の育成

豊かな人間性の  
育成

知と人間性の育成

学力の定着  
(知識・技能)

論理的思考力と  
豊かな表現力の育成

# 豊かな人間性の育成

## 品格ある人間性と社会性の育成

- ・ 気持ちのよいあいさつ
- ・ 美しい言葉
- ・ 美しい所作



## 豊かな「かかわり」の場の工夫

- ・ 受け継ぐ伝統文化  
(能, 篠笛, 茶道)
- ・ つながる地域の文化  
(米作り, 地域交流会等)
- ・ 協力する縦割り活動  
(縦割り掃除, 遠足等)
- ・ 地域に還元する活動  
(クリーン大作戦等)

## 相手を大切にする温かいかかわり

～長江小文化の継承～  
相手を思いやり, 尊重する

# 学力の定着（知識・技能）

## 学習規律の徹底

- ・ 相手意識を持ち、「話す・聞く」力の育成
- ・ 発達段階に応じた規律の定着



## 主体的に考える授業の継続

- ・ 「課題発見・解決学習」の単元開発，ブラッシュアップ
- ・ 個の変容の見取りを指導に生かす



## 支持的風土づくり

考えの違いを認め合い，自他共に豊かに伸びていこうとする基盤

# 論理的思考力・豊かな表現力の育成

## 「課題発見・解決学習」の充実

- ・主体的・協働的に課題解決に取り組むことができる単元開発の推進や充実



## モデルの習得と活用

- ・モデルや友達のよさをまねる。
- ・かかわり合って学習する場の設定



## 「学びのすべ」の活用

発達段階に応じた活用の深まり，汎用性をもって活用できる力の育成

# 豊かな人間性

知  
(学力)



か  
か  
わ  
り



人  
間  
性



# I 研究の概要

# II 取組の具体

# III 研究の成果

# IV 今後に向けて

## 【長江式】学びのすべを活用した探究のプロセス

探究のプロセス	課題の設定	情報収集 【自力解決】	整理・分析 【集団解決】	まとめ、表現 【振り返り】	
学びのすべ	比較する	関係付ける	かかわる 比較⇄分類	振り返る	
手立て	課題を見付ける	見通しをもつ	意見や考えをまとめる・しぼる・選択する	意欲・自信につなげる	
子供の思考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「何か前の学習と違うぞ？」</li> <li>「前の学習と違うところを見つけたから、課題を設定できそうだ。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「この前学習した考えが使えるのかな。」</li> <li>「今までに課題を解決した時にどんな方法が使えるのかな。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「○君と違う考えだった。どういことが聞いてみよう。」</li> <li>「○君はAの考えだけど、ぼくはBの考えの方がいいと思うな。」</li> </ul> <p>質問→議論</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「○君の考えと□君の考え方は違うけど同じところがあるのかもしれないな。」</li> <li>「共通点や相違点を見つけてみよう。」</li> <li>「○君の考えが一番課題に合った答えになっているな。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「今日は○君のおかげで～が分かった。」</li> <li>「今日は～のすべを使うことで解決することができた。」</li> <li>「3つの視点で振り返りをしよう。」</li> </ul>
教師の発問	<b>視点 目的意識をもたせる</b>	<b>視点 目的を達成するための方法を考えさせる</b>	<b>視点 自分たちの考えが目的を達成するために最適な答えを判断させる</b>		<b>視点 目的が達成できたか確認させる</b>
	低:「○と□では何がちがいますか。」	低:「○○の勉強をした時に似たようなことはなかったですか。」	低:「友達の意見を比べながら聞きましょう。」	低:「みんなの意見の同じところはありますか。」	低:「今日の学習で分かった事や友達の考えから学んだ事を書きましょう。」
	中:「前の時間と何が違いますか。」	中:「今までに学習したことで使えるような考えはありますか。」	中:「1番いいと思う考えにまとめましょう。」	中:「各班から出た考えや答えの共通点や相違点はどこですか。」	中:「学びのすべを使ったことでよかったことやかかわりでよかったことが何か書きましよう。」
高:「前の時間で学習したことをもとに、気づきや疑問はありますか。」	高:「既習をもとに課題を解決するための見通しを立てましよう。」	高:「目的に応じた話し合いを進めましよう。」	高:「根拠をもとに課題に対する答えをしぼりましよう。」	高:「3つの視点で振り返りを書きましよう。」 ①学びのすべの有用性 ②かかわりでの実容 ③次時への見通し	
目指す子供の姿	低学年	学びのすべ・学び方(課題発見・解決学習)の習得			
	中学年	探究のプロセスによる学びのすべの選択			
	高学年	学びのすべを活用した探究のプロセスの汎用性			

学びのすべとは

長江小「学びのすべ」

学びのすべを  
使って  
しっかり  
学ぼう!



比べよう

関係付けよう

分類しよう

☆□□に着目すると、共通点は何かな?

☆今まで学習したことを使えないかな?

☆□□の視点で、分類できないかな?

☆□□に着目すると、どこがちがうかな?

「□□に着目すると、〇〇は同じだけど、  
△△はちがって・・・です。」

「前に学習したことをもとにすると  
・・・です。」

「□□の視点で分類すると・・・  
〇〇と△△に分けられます。」

かかわろう

☆本当に友だちの考えが分かったかな?

☆自分の考えだけでなく、友だちの考えも使えないかな?

☆友だちの発表を聞いて、気付いたことはないかな?

「分からなかったので、もう一度言ってください。」  
「つまり〇〇ということですか。」  
「□□さんの考えを使うと、・・・になります。」  
「□□さんの発表を聞いて、〇〇と気付きました。」

ふりかえろう

☆どんな「学びのすべ」を使ったかな?

☆友だちと学習すると、どんなよさがあるのかな?

「〇〇というすべを使って考えたから、□□が分かりました。」  
「〇〇さんの□□という考えのおかげで、・・・。」  
「友だちと学習するということは、〇〇というよさがあります。」

# 昨年度の**成果**

## 取組①

「学びのすべを活用した探究のプロセス」を意識した授業改善

## 成果①

子供たちが主体的に課題を解決しようとする姿が見られた。

# 昨年度の**成果**

## 取組②

地域の教育資源を積極的に活用

## 成果②

地域の人や様子に着目し、地域に対するものの見方や考え方に変容が見られた。

# 昨年度の課題

## 課題①評価

自己の学びや身に付けた  
資質・能力などの捉えに児  
童と教職員にズレがあった。

# 昨年度の課題

## 課題②カリキュラムの見直し

教科内容の系統性，各教科で身に付けた資質・能力と育成を目指す資質・能力との関連性が見えづらい。

# 昨年度の課題

課題③かかわりの質的向上を

目指した授業づくり

子供同士で学び合うことを  
促す授業に課題が見られた。

# 研究主題

他者と協働して、課題を主体的に  
解決しようとする子供の育成

～地域の教育資源を積極的に活用した、  
探究的な学びを通して～



# 研究仮説

目的を明確にした「かかわり」を中核とした協働的な学びを展開すれば、子供が自ら考え、課題を解決しようとする力の向上と地域に対するものの見方や考え方、自己や他者を理解しようとする態度を育成することができる。

## 今年度の**研究内容**

- ① 資質・能力の評価について
- ② 生活科,総合的な学習の時間を軸としたカリキュラムの見直し・作成について
- ③ かかわりの質的向上を目指した授業づくりについて

I 研究の概要

II 取組の具体

III 研究の成果

IV 今後に向けて

# 授業の実際



## 研究内容①

### 資質・能力の評価について

#### 手立て①

「学びに向かう力，人間性等」に着目して，児童自身が自覚できる振り返りの在り方，教師側の評価方法などを検討する。

I 研究の概要

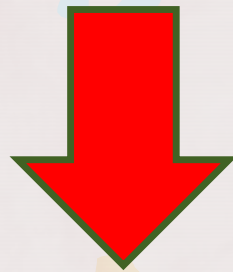
II 取組の具体

III 研究の成果

IV 今後に向けて

- ①「学びに向かう力，人間性等」に着目して，児童自身が自覚できる振り返りの在り方，教師側の評価方法などを検討する。

探究課題の解決を通して  
育成する資質・能力



育成をめざす長江っ子の姿

## I 研究の概要

## II 取組の具体

## III 研究の成果

## IV 今後に向けて

- ①「学びに向かう力，人間性等」に着目して，児童自身が自覚できる振り返りの在り方，教師側の評価方法などを検討する。

資質・能力	低学年	中学年	高学年
課題発見・解決力	身の回りの生活から，「なぜだろう」と疑問をもち，「学びのすべ」使って解決しようとする力	身の回りの生活から，疑問・課題・やりたいことを見付け，「学びのすべ」を進んで使い，解決する力	身の回りの生活から，課題を見付け，「学びのすべ」を活用しながら解決する力
思考力・表現力	友達の考えと自分の考えを「比較」して，考える力 相手意識をもち，順序立て，自分の考えを表現する力	友達の考えと自分の考えを「比較して」整理し，考える力 相手意識をもち，目的に応じて，自分の考えを表現する力	多様な考え方を「比較」したり「分類」したりして，共通点や相違点を見出し，自分の考えを深める力 相手意識をもち，目的に応じて，自分の考えを効果的に表現する力
主体性	自分から進んで学ぼうとする態度	自分の思いや意欲をもち，自分から進んで学ぼうとする態度	自分の意志や判断で，自ら学ぼうとする態度
協働性	友達と「かかわり」ながら課題を解決しようとする態度	友達と「かかわり」ながら，粘り強く課題を解決しようとする態度	相手と心を通わせ，共に「かかわり」ながら目標や課題の達成を目指そうとする態度
自己肯定感	「振り返り」をすることで，自分や友達のよさに気付こうとする心	「振り返り」をすることで，自分の成長や友達のよさを実感しようとする心	自己の変容に目を向けて「振り返り」，自分や友達の成長やよさを自覚しようとする心
郷土愛	身近な人との「かかわり」を通して，郷土に親しみや愛着をもち心	地域の人や文化との「かかわり」を通して，郷土に親しみや愛着をもち心	地域の人や文化との「かかわり」を通して，愛着をもち，学んだことを地域へ返そうとする心

# I 研究の概要

# II 取組の具体

# III 研究の成果

# IV 今後に向けて

① 「学びに向かう力，人間性等」に着目して，児童自身が自覚できる振り返りの在り方，教師側の評価方法などを検討する。

単元名 LONG 『わがふるさと尾道のすばらしさPR大作戦～WE LOVE 尾道～』  
 SHORT 『能・しの笛』  
 『わがふるさと尾道のすばらしさPR大作戦Part2～WE LOVE 尾道～』

探究課題の解決を通して育成する資質・能力

【資質・能力の三つの柱との関係】

①～⑥で示すそれぞれの「目指す子供の姿」を，今回改訂における資質・能力の三つの柱に照らすと，以下のような

- 【知識及び技能】 ……………①【郷土愛】
- 【思考力，判断力，表現力等】 ……………②【課題発見・解決力】，③【思考力，表現力】
- 【学びに向かう力，人間性等】 ……………④【主体性】，⑤【協働性】，⑥【自己肯定感】

小單元ごとに評価  
規準を精選する。

月	単元名 及び時数 (探究課題)	小單元名	具体的な学習活動	小單元 の時数	探究課題とのかかわり 資質・能力との関係	評価規準 【育成を目指す資質・能力】
4・5	能・しの笛⑮	日本の伝統文化とその継承に力を注ぐ人々 能やしの笛について知ろう	・能やしの笛に取り組んでいる人や組織の存在，活動内容を知り，伝統文化について関心をもつ。 ・能やしの笛に関する情報を集めたり，実際に体験したりする。 ・地域における能やしの笛の伝承に関する現状について知る（聞く）	5	音楽科：しの笛の知識と技能 国語科：意図や目的に応じた話し方，聞き方	思考・判断・表現 能やしの笛の魅力に触れることで，能やしの笛が地域に伝承されてきたことに関する課題を設定し，独自性や時代背景に注目しながら解決に向けた計画を立てている。 【課題発見・解決力】
5		能やしの笛のよさを伝えよう	・伝統文化の継承に関して，その意義を見いだしたり，課題となっていることを取材したりする ・講師の思いを知るとともに，よさを伝えるために自分たちに何ができるか考える	6	国語科：情緒と情の関係の理解・まとめ 道徳：文化に対する知識	学びに向かう力 人間性等 知識及び技能 地域に伝わる能やしの笛に関心をもつ，目的を明確にして自らの意思で課題を解決しようとしている。 【主体性】 講師の思いや願いを理解するとともに，伝統文化の継承には，固有性の継承と，よさを工夫して発信し続けていくことが大切であることに気付いている。 【郷土愛】
6		まちの伝統文化を発信しよう	・自ら企画した「伝統文化発表会」で，伝えたい対象や内容に応じて方法を選択し，能やしの笛のよさを発信する。			必要の情報に応じて，収集する方法を選んだり，取材する内容を決めたりし情報を収集している。 【課題発見・解決力】 んだ事を目的や相手に応じて，既習の知識や技能を関係付けながら，表現している。 【思考力・表現力】 能やしの笛のよさを発信を目指した「伝統文化発表会」の成功に向け，友達と役割を分担したり，互いの考えのよさを生かしたりしながら協力して取り組んでいる。 【協働性】

学習活動と評価の  
つながりを意識して  
設定する。

①「学びに向かう力，人間性等」に着目して，児童自身が自覚できる振り返りの在り方，教師側の評価方法などを検討する。

単元名

「ふるさと長江へ恩返し大作戦！  
～6年生だからできることで地域を笑顔にしよう！！～

本単元で育成する資質・能力 □ 課題発見・解決力，郷土愛，主体性

単元を通して，育成を目指す資質・能力

3 □ 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>郷土愛</b></p> <p>②インタビューやアンケート調査など，相手や場面に応じた方法で実施している。</p> <p>③地域に対する見方・考え方の変容は，地域の人たちが大切にしている文化や価値観について探究的に学んだことによる成果であると気付いている。</p>	<p><b>課題発見解決力</b></p> <p>②目的を達成するための方法や解決に必要な情報を選択し，複数の情報を収集している。</p> <p>③収集した情報と事実や経験を踏まえて，目的に合わせて必要な情報を分類したり，比較したりしながら，解決に向けて考えている。</p> <p>④自分たちが実践しようとしている内容を整理して，対象者や目的を意識した表現方法を選択し，まとめている。</p>	<p><b>主体性</b></p> <p>②課題解決に向けて必要な情報や根拠となる情報を「考えるための技法」を活用して，解決の見通しを立てて解決しようとしている。</p> <p>③「地域への恩返し」を実践するために，自己の生き方と関連させながら，自分事として取り組もうとしている。</p>



# I 研究の概要

# II 取組の具体

# III 研究の成果

# IV 今後に向けて

① 「学びに向かう力，人間性等」に着目して，児童自身が自覚できる振り返りの在り方，教師側の評価方法などを検討する。

## 5 指導と評価の計画（全25時間）

単元名（時数）	ねらい	評価方法	教科との関連
単元名の設定 「ずっと住みたいまち・長江」 にするために地域の課題を見よう。	将来，長江 また，どのよ ・将来のまちの姿を予想し，自分 たちの思いや願いを共有する。		
	知識・技能 ①「ずっと住みたいまち」は， 地域の方たちや行政機関と協働 して実現されることを知るとと もに住みやすさの基準はそれぞ れの地域によって違うことを理 解している。 〈郷土愛〉 ②インタビューやアンケート調査な ど，相手や場面に応じた方法で実 施している。 ← ③自己の生き方に対する認識の高ま りは，ふるさと長江の将来のため に探究的に学習してきたことの成 果であると気付いている。 ←	思考・判断・表現 ①「ずっと住みたいまち」には， どんな魅力が あり，どうすればもっと住みやすくなるのか解決 の方法や手順を考えるなど，見通しをもって計画 を立てている。 〈課題発見・解決力〉 ← ②「ずっと住みたいまち」の実現に向 けた政策や取組を収集し，複数の情報を蓄 積，選択している。 ← ③「ずっと住みたいまち長江」の実現に 向け，目的に必要な情報を比較したり，関 連付けたりしながら，確かな理由や根拠を 見出している。 ← ④自分たちが実践しようとしている「まちづ くり案」を整理し，対象者や目的を意識し た表現方法を選択し，まとめている。 ←	主体的に学習に取り組む態度 地域の現状と地域の方々の思いや願 いを受け入れ，尊重するとともに， 「ずっと住みたいまち」の実現 に向けて，自分自身で考えた意見の 価値を理解している。 ← ②自分の意思でふるさと長江の将来の ためにできることはないか考え実践 しようとしている 〈主体性〉 ← ③ふるさと長江の将来と自己の生き方 を関連させながら，自分の将来につい て夢や希望を持つようとしている。 ←

小单元ごとに  
評価基準を精選

探究のプロセスと育成  
をめざす子供の姿と  
関連

「ずっと住みたいまち・長江」  
にするために地域の課題を見よう。

(4)

①

- ①「学びに向かう力，人間性等」に着目して，児童自身が自覚できる振り返りの在り方，教師側の評価方法などを検討する。

## 6□本時の展開

### (1) 本時の目標

□地域の方々の思いや願いを受け入れ，尊重するとともに，自分の意志で地域のために自分たちにできることはないか考え，実践しようとしている。【主①】

### (2) 思考を深める場面

「今できること」が本当に実現可能で地域にとって価値あることなのか，けたりしながら判断する場面

単元の評価基準をさらに具体的にして設定する

単元の評価規準と照らし合わせて，育成すべき姿と本時の目標を関連させて具体的に明記する

《 長江小学校でめざす児童の学びの姿 》

他者と協働して、課題を主体的に解決しようとする子供の育成



?を!に変える力



考え・伝える力

自分から学ぼう  
とする心

長江小学校で育てたい  
資質・能力

かかわって新たな考  
えを作ろうとする心

ふるさと愛

自分と友達のおさを  
見つける心

- ① 「学びに向かう力, 人間性等」に着目して, 児童自身が自覚できる振り返りの在り方, 教師側の評価方法などを検討する。

学びに向かう力, 人間性等

## ① 自分自身に関すること

主体性

自己肯定感

将来展望

## ② 他者や社会との関わりに関すること

協働性

相手意識

社会参画

# I 研究の概要

# II 取組の具体

# III 研究の成果

# IV 今後に向けて

① 「学びに向かう力，人間性等」に着目して，児童自身が自覚できる振り返りの在り方，教師側の評価方法などを検討する。

## パワーアップシート

資質・能力の高まりを自己評価する

高まったと感じた  
資質・能力を蓄積する

?を!にかえる力 【挑戦発見・解決力】 毎の周りの生活から、課題を見付け、「学びのすべ」を活用しながら解決する力	考え・伝える力 【思考力・表現力】	自分から学ぼうとする心 【主体性】	かかわって新たな考えを作ろうとする心 【協働性】	自分と友達の見つけ方 【自己肯定感】	ふるさと愛 【郷土愛】
考え・伝える力 【思考力・表現力】	自分から学ぼうとする心 【主体性】	かかわって新たな考えを作ろうとする心 【協働性】	自分と友達の見つけ方 【自己肯定感】	自分と友達の見つけ方 【自己肯定感】	ふるさと愛 【郷土愛】

# I 研究の概要

# II 取組の具体

# III 研究の成果

# IV 今後に向けて

①「学びに向かう力，人間性等」に着目して，児童自身が自覚できる振り返りの在り方，教師側の評価方法などを検討する。

## 振り返りシート

わたしは、今日の学習を終え、①班の友達と協力できたと思います。

今日は、班で分かれて地域の方にうじについての報告（お知らせ）、参加についてのお手紙を書きました。

私達より、長江のことも大切に思、てくたさ、ている

地域の方のため、地域のためにという思いが伝わるように、班の中で言葉を選んでリ目的を再確認できたよかったです。今日は手紙を書いたので次はあと手紙も出すだけなので、はやくうじをまわしたてです。

郷土愛↑

私は、今日、総合的な学習の時間で、地域の方にどのような内容の手紙をかけるかよく考えて、地域の方の分りやすいように書かないといけないし、その日時

持ってくる物などと、具体的な内容を班のみんなで話し合、て決めました。手紙の他にも、その具体的な内容をそれぞれの班でメリットデメリットに分けてそれを解決するために、話し合、てこの町をもっとよびたいです。

主体性↑

総合的な学習の時間 6年生児童より

I 研究の概要

II 取組の具体

III 研究の成果

IV 今後に向けて

① 「学びに向かう力、人間性等」に着目して、児童自身が自覚できる振り返りの在り方、教師側の評価方法などを検討する。

パワーアップシート2

キーワード【みんなの言葉】	キーワード【みんなの言葉】	キーワード【みんなの言葉】	キーワード【みんなの言葉】	キーワード【みんなの言葉】	キーワード【みんなの言葉】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇と思っ</li> <li>いたけど。</li> <li>・〇〇と比べてみるよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇を伝えることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の時間は〇〇をしたい。</li> <li>・これから〇〇したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と関わって分かった。</li> <li>・他の班と共有して。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇が知っていたので、分かりました。</li> <li>〇〇をやってよかった。</li> <li>・〇〇が分かった(成長)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地土或のために〇〇したい。</li> <li>・〇〇を聞いて好きになった。</li> </ul>
<p><b>目指す姿</b></p> <p>自ら課題を見つけ、学びのすべない使え解ける</p>	<p><b>目指す姿</b></p> <p>見考シールなど使って考え、共通点や相い点を見つける</p>	<p><b>目指す姿</b></p> <p>自分が次にすること分かる。</p>	<p><b>目指す姿</b></p> <p>相手の意見を取り入れて、自分の考えにつかかえる。</p>	<p><b>目指す姿</b></p> <p>自分が相手の良さが見つけてよさを自覚する。</p>	<p><b>目指す姿</b></p> <p>地土或のためには何かできる。</p>

# I 研究の概要

# II 取組の具体

# III 研究の成果

# IV 今後に向けて

①「学びに向かう力，人間性等」に着目して，児童自身が自覚できる振り返りの在り方，教師側の評価方法などを検討する。

## 振り返りシート

「地域のために」という思いが伝わるように，班の中で言葉を確認したり，目的を確認したりすることができました。

この地域をよくするために，メリット・デメリットに分けて，解決するために話し合い，このまちをよりよくしていきたいです。

~~私達より~~ ~~長江の~~ ~~ことを~~ ~~大切に~~ ~~思~~ ~~て~~ ~~く~~ ~~た~~ ~~と~~ ~~て~~ ~~い~~ ~~る~~  
 地域の方のため，地域のためにという思いが伝わる  
 ように，班の中で言葉を確認したり，目的を確認したり  
 ことができました。 今回，はた組とま... たので次はあそ組を...  
 すたけなのではやくうじをま行したてま。

内容を以ての班でメリットデメリットに分けてそれを解  
 決するために話し合い，この町をもっとよりよくしたいです。  
 主体的 ↑  
 思%中，表%中%↑

総合的な学習の時間 6年生児童より



# I 研究の概要

# II 取組の具体

# III 研究の成果

# IV 今後に向けて

①「学びに向かう力，人間性等」に着目して，児童自身が自覚できる振り返りの在り方，教師側の評価方法などを検討する。

わたしは総合の学習で長江のどんとつについて調べるために、うしろ神社の永井さんにインタビューしました。永井さんがたさんのしつ問に答えてくださったので楽しかったです。わたしが一番すごいと思ったことは、うしろ神社はおの道で一番古い神社だということです。とてもすごいなと思いました。わたしはこれから先、うしろ神社がずっと残ってほしいと思いました。

ぼくは動画で伝えると分かりたい。うつす所は書いたことをうつすのか。寺や神社をうつすのか。どこを動画でうつしたらいいのかわからない。次はそこを考えた方がいいかなと思います。寺や神社をうつすのは、もう一回寺や神社に行かないといけません。書いたことをうつすのは、かたがたから書いたことをうつしたらいいと思います。

「わたしはこれからも歴史のある良神社がずっと残ってほしいと思いました。」

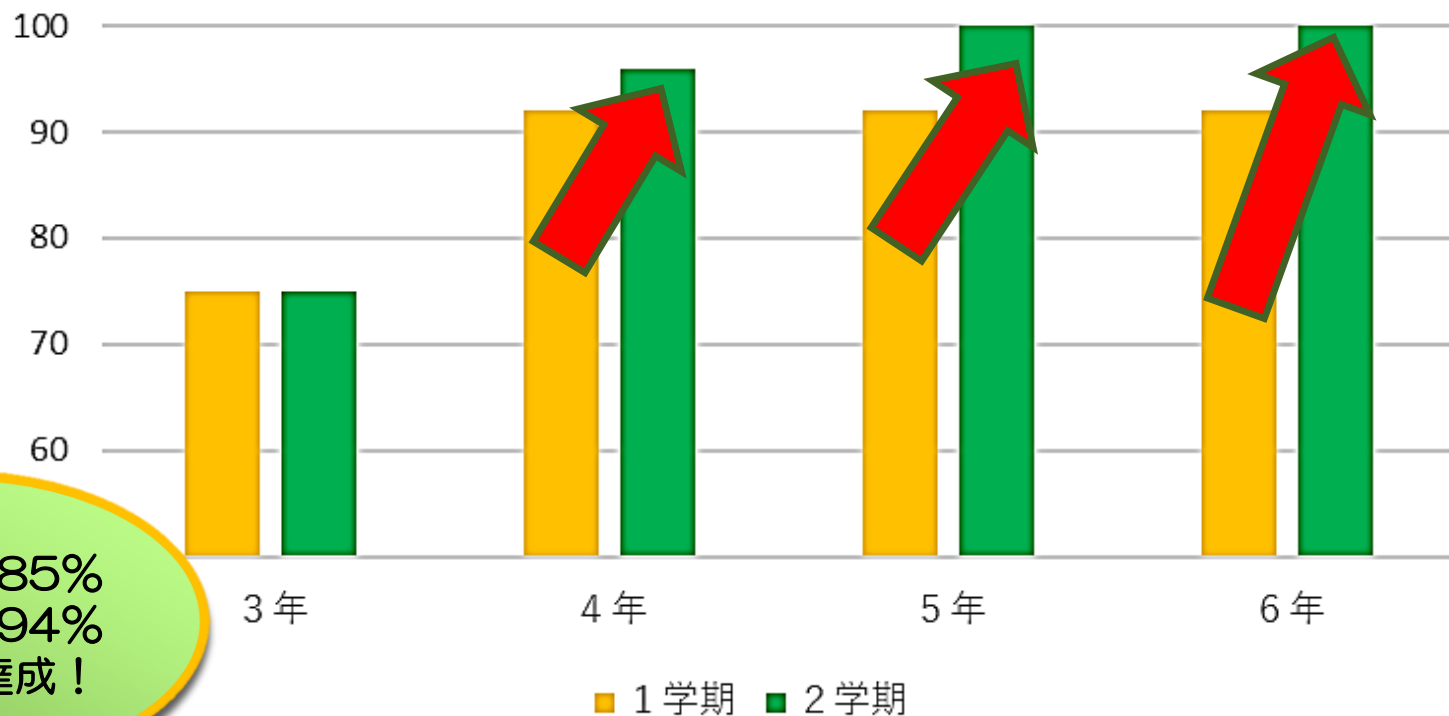
動画で伝えるためには、もう一度寺や神社に撮影しにいかないといけないと思います。でも、パンフレットなら、学んだ事をまとめて書くからそちらもいいと思います。

総合的な学習の時間 3年生児童より

- ① 「学びに向かう力，人間性等」に着目して，児童自身が自覚できる振り返りの在り方，教師側の評価方法などを検討する。

## 成果

「振り返りでは，資質・能力の高まりについて書いている」と回答した児童の割合

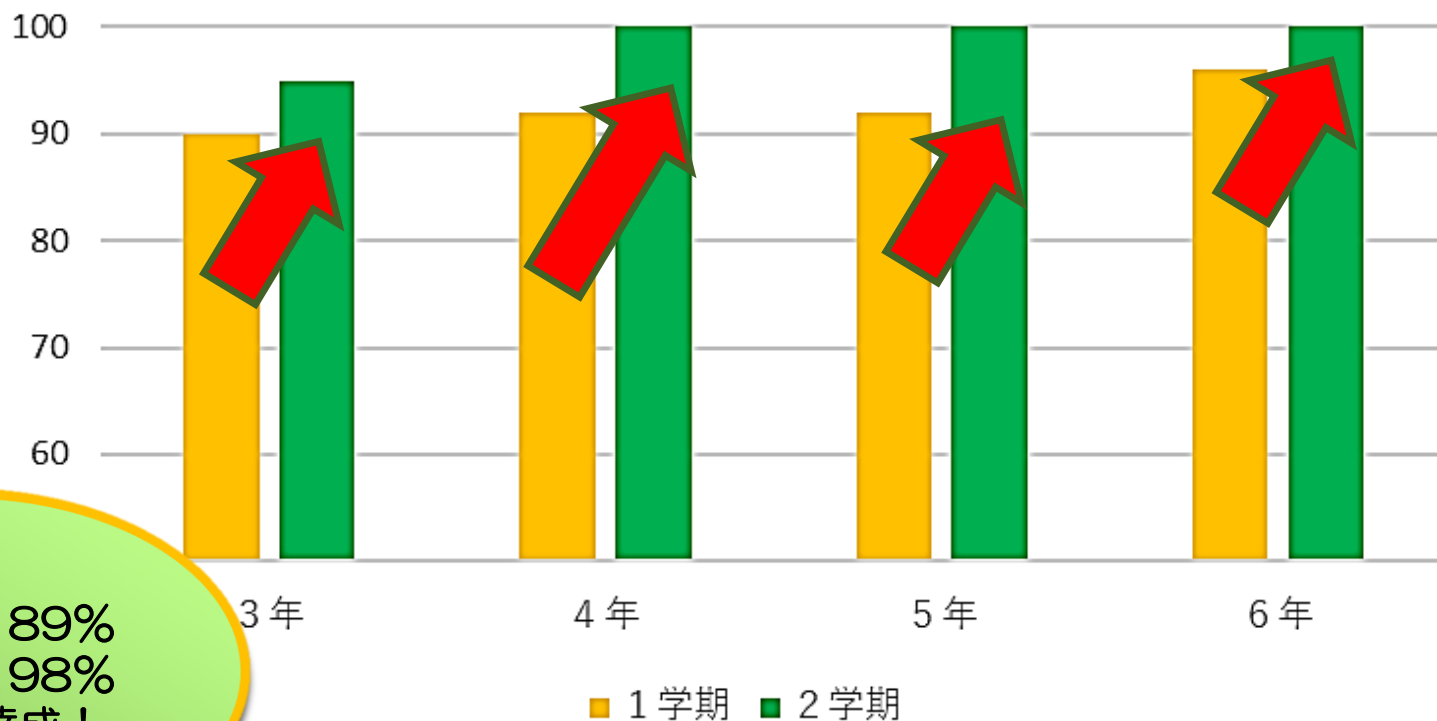


1学期 85%  
2学期 94%  
目標値達成！

- ① 「学びに向かう力、人間性等」に着目して、児童自身が自覚できる振り返りの在り方、教師側の評価方法などを検討する。

## 成果

「資質・能力の高まりを感じている」と回答した児童の割合



1学期 89%  
2学期 98%  
目標値達成！

- ① 「学びに向かう力，人間性等」に着目して，児童自身が自覚できる振り返りの在り方，教師側の評価方法などを検討する。

### 成果①

- 高まった資質・能力を他教科や生活場面でも活用・発揮する姿が見られるようになった。
- 記述の内容を明確にしたことで，児童，教職員ともに高まりの自覚とその評価がしやすくなった。

- ① 「学びに向かう力，人間性等」に着目して，児童自身が自覚できる振り返りの在り方，教師側の評価方法などを検討する。

## 課題

- 振り返りの記述から資質・能力の高まりを判断する際，他の資質能力との重なりが見られた。
- 資質・能力に関する言葉を収集したことが手立てとなる反面，記述が固定化される傾向がある。

## 研究内容②

生活科,総合的な学習の時間を軸としたカリキュラムの見直し・作成について

### 手立て②

育成を目指す資質・能力や目指す子供の姿を明確にしたカリキュラムと年間指導計画を作成する。

# I 研究の概要

# II 取組の具体

# III 研究の成果

# IV 今後に向けて

②育成を目指す資質・能力や目指す子供の姿を明確にしたカリキュラムと年間指導計画を作成する。

## 年間指導計画

元名 (時数 /課題)	小単元名	具体的な学習活動	小単元 の 時数	探究 資質	思考・判断・表現	学びに向かう力 人間性等
日本の伝統文化とその継承に力を注ぐ人々	能やしの笛について知ろう	・能やしの笛に取り組んでいる人や組織の場所、活動内容を知り、伝統文化について関心をもち。 ・能やしの笛に関する情報を集めたり、実際に体験したりする。 ・地域における能やしの笛の伝承に関する現状について知る(聞く)	5	音楽科： 能 国語科： た	思考・判断・表現	能やしの笛の魅力に触れることで、能やしの笛が地域に伝承されてきたことに関する課題を設定し、独自性や時代背景に注目しながら解決に向けた計画を立てている。 【課題発見・解決力】
	能やしの笛のよさを伝えよう	・伝統文化の継承に関して、その意義を見いだしたり、課題となっていることを取材したりする ・講師の思いを知るとともに、よさを伝えるために自分たちに何ができるか考える	6	国語科： け、内容 道徳 伝	知識及び技能	地域に伝わる能やしの笛に関心をもち、目的を明確にして自らの意思で課題を解決しようとしている。 【主体性】
	まちの伝統文化を発信しよう	・自ら企画した「伝統文化発表会」で、伝えたい対象や内容に応じて方法を選択し、能やしの笛のよさを発信する。	4	国語科： した 伝 学 際	思考・判断・表現	講師の思いや願いを理解するとともに、伝統文化の継承には、固有性の継承と、よさを工夫して発信し続けていくことが大切であることに気付いている。 【郷土愛】
					思考・判断・表現	必要な情報に応じて、収集する方法を選んだり、取材する内容を決めたりして情報を収集している。 【課題発見・解決力】
					思考・判断・表現	学んだ事を目的や相手に応じて、既習の知識や技能を関係付けながら、表現している。 【思考力・表現力】
					学びに向かう力 人間性等	能やしの笛のよさの発信を目指した「伝統文化発表会」の成功に向け、友達と役割を分担したり、互いの考えのよさを生かしたりしながら協力して取り組んでいる。 【協働性】

指導と評価の一体化

小單元ごとに、  
評価規準を精選する。

5年生総合的な学習の時間 年間指導計画

I 研究の概要

II 取組の具体

III 研究の成果

IV 今後に向けて

②育成を目指す資質・能力や目指す子供の姿を明確にしたカリキュラムと年間指導計画を作成する。

カリキュラムマップ【単元間の関連を示したもの】

お父さんの自まん 【道徳】	ものの温度とかさ 【理科】	学校について紹介すること 【国語科】					ら、学級新聞を作りあげようとする態度
地域の発展のために尽くそうとする人々の姿・思い	身近なものから疑問をもち、根拠をもって予想し解決する力	①目的を意識して、役割を果たさない、相手に伝わっているかどうかはいる。 ②異なった材料を比較したり、分類しえるために必要な事柄を選んでいる。					
		お願いやお礼の手紙を書こう 【国語科】 書く内容の中心を明確にし、相手や目的を意識して表現する力	布野小学校の友達 「に伝えよう 「思・協」			手んだことを生活 まかせよう【学級活動】	の見方【算数科】 な機会について、動きをて比べたことを振り返りよりよいものを求めて振り返り考えたり、学習したて
残したいもの 伝えたいもの【社会】		1	←→	←→		協働性	主体性
伝統や文化を受け継ごうとする人々の努力		広告を読み比べよう【国語科】 情報を比較・分類し、目的や意図に応じて表現の工夫をずる力	「は」 「尾道 「伝え 「の 「よう 「の 「ら 「を 「で 「郷・主」	とじこめた空気や水【理科】 比較する思考ツール 分類する思考ツール	自分のことは自分でやりとげよう【学級活動】 目標を立て、自分の力でやりとげようとする態度		がむしゃらに【道徳】 目標に向かってやりぬこうとする態度

教科等における学年間の横の関連性を整理

活用・発揮

協働性

主体性

4年生 カリキュラムマップ(単元間の関連を示したもの)



I 研究の概要

II 取組の具体

III 研究の成果

IV 今後に向けて

②育成を目指す資質・能力や目指す子供の姿を明確にしたカリキュラムと年間指導計画を作成する。

算数科「倍の見方」

簡単な場合について、割合を用いて比べたことを振り返り、よりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

学活:「学んだ事を生活に生かそう」

友だちと協働し、学んだことを活かして話し合ったり、課題を解決したりしている。

深い学び

資質・能力の発揮

活用・発揮

主体性

活用・発揮

協働性

4年 総合的な学習の時間

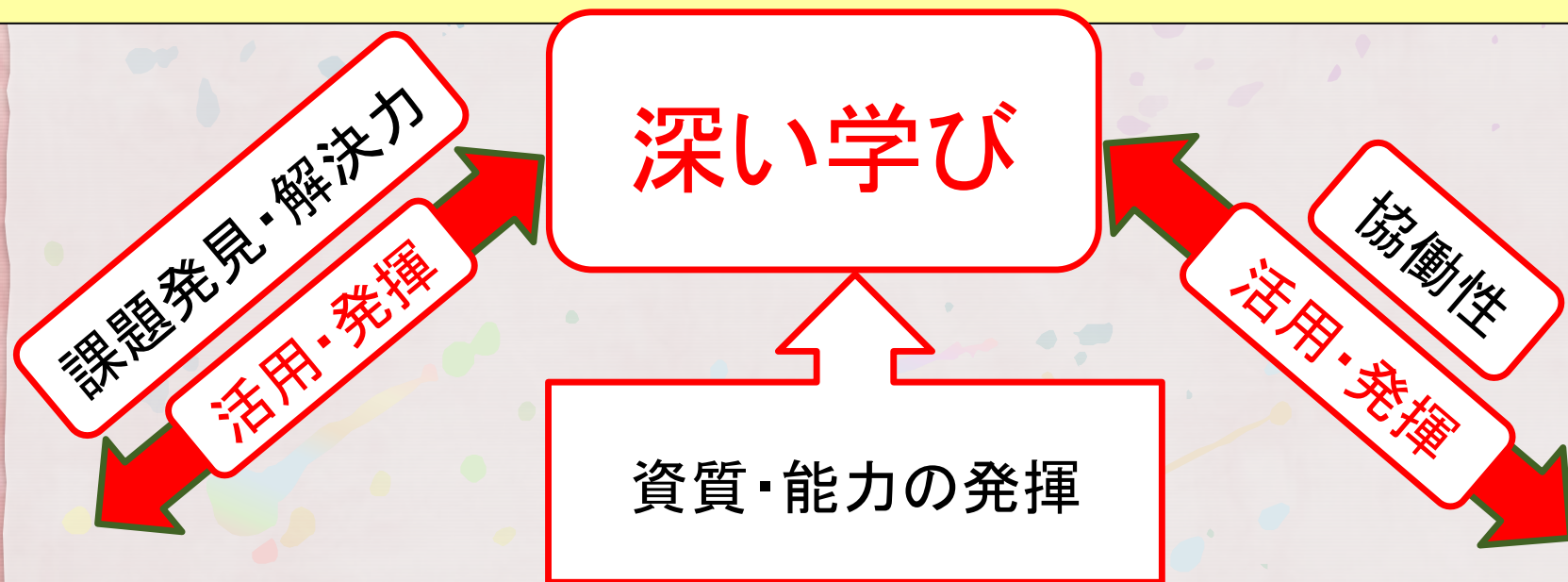
I 研究の概要

II 取組の具体

III 研究の成果

IV 今後に向けて

②育成を目指す資質・能力や目指す子供の姿を明確にしたカリキュラムと年間指導計画を作成する。



算数科「どちらがおおい」

身の回りにある入れ物に入る水の体積に着目して、直接比較や間接比較、任意単位による体積の比べ方を考えたり、任意単位により体積を数値で表したりしている。

国語科「なにに見えるかな」

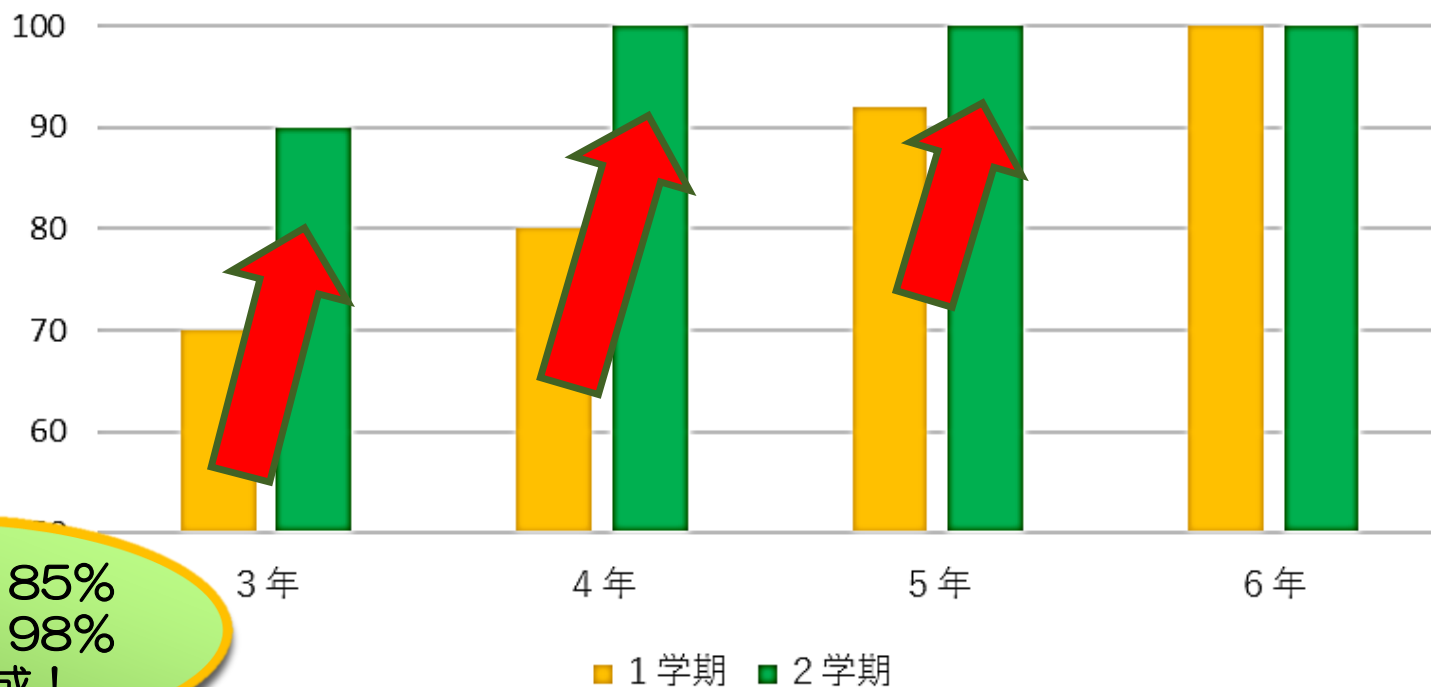
互いの話に関心をもって話をつなごうとし、グループで話し合う態度

1年 生活科

②育成を目指す資質・能力や目指す子供の姿を明確にしたカリキュラムと年間指導計画を作成する。

## 成果

「総合的な学習の時間や生活科で、ほかの教科などで学んだ知識や技能など活用している」と回答した児童の割合

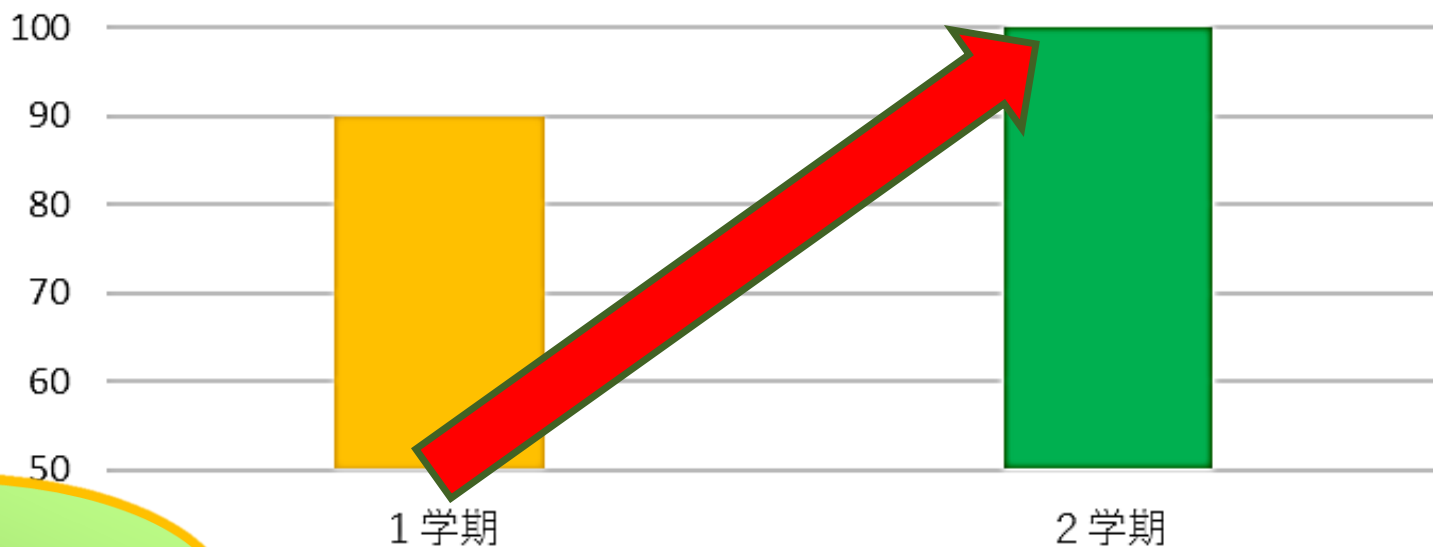


1学期 85%  
2学期 98%  
目標値達成！

②育成を目指す資質・能力や目指す子供の姿を明確にしたカリキュラムと年間指導計画を作成する。

## 成果

「カリキュラムマップは、子供の資質・能力の活用・発揮につなげるためのひとつとなっている」と回答した教師の割合



1 学期 90%  
2 学期 100%  
目標値達成！

②育成を目指す資質・能力や目指す子供の姿を明確にしたカリキュラムと年間指導計画を作成する。

## 成果

○明確な評価規準の設定と教科等における学年間の横の関連性の整理は、教師の授業力向上と子供の資質・能力の向上に効果がみられた。

②育成を目指す資質・能力や目指す子供の姿を明確にしたカリキュラムと年間指導計画を作成する。

## 課題

- 教科等の学年を超えた縦の関連性の整理は行えていない。
- 資質・能力を活用・発揮する場面の実践例や単元，本時レベルでの場面に応じた思考ツールの活用例の蓄積がこれからも必要である。

## 研究内容③

かかわりの質的向上を目指した  
授業づくりについて

### 手立て③

主体的・対話的で深い学びに向かうように思考ツールの選択や活用の在り方を工夫する。

# I 研究の概要

# II 取組の具体

# III 研究の成果

# IV 今後に向けて

③主体的・対話的で深い学びに向かうように思考ツールの選択や活用の在り方を工夫する。

## 【長江式】「かかわり」を意識した授業づくり

探究のプロセス	整理・分析【集団解決】		
かかわり	課題（めあて）を設定するかかわり 分類→比較→決定	考えや意見を深め合うかかわり 比較→抽象化	考えや意見をまとめるかかわり 比較・分類→関連付ける
ねらい	意見をしぼる	考えや意見の共通点・相違点を探る	考えや意見の良い点をつなげる
本時の目標	①学習課題とかかわりのねらいをしっかりと意識させる。		
かかわりのながれ			
思考ツール			
目指す子供の姿	低学年		
	中学年		
	高学年		
授業後の気付き (成果・課題)			



I 研究の概要

II 取組の具体

III 研究の成果

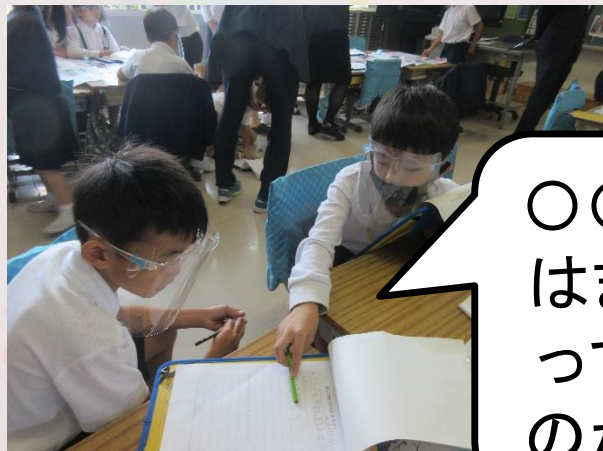
IV 今後に向けて

③主体的・対話的で深い学びに向かうように思考ツールの選択や活用の在り方を工夫する。



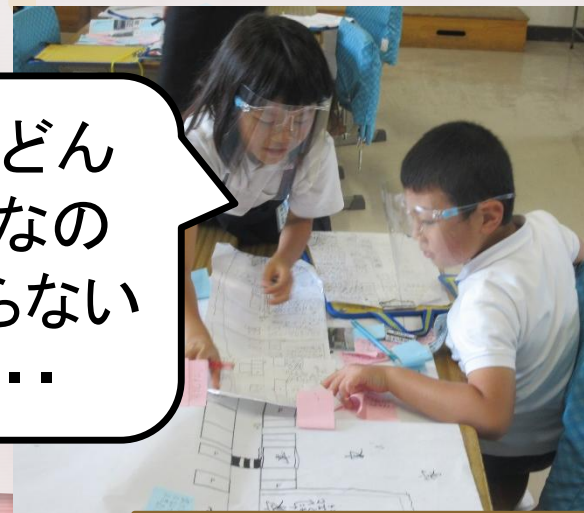
みんなど  
んなことに  
気付いた  
のかな？

あれ？ぼくら  
とはちがうこ  
とに気付いて  
いるよ？



〇〇商店  
はまだや  
っている  
のかな..

〇〇がどん  
なお店なの  
か分からない  
なあ...



# I 研究の概要

# II 取組の具体

# III 研究の成果

# IV 今後に向けて

③主体的・対話的で深い学びに向かうように思考ツールの選択や活用の在り方を工夫する。



発信方法は、パンフレットがいいと思う。動画は・・・

そういう考えもあるのかあ……。でも、それぞれによさがあるから1つにするのが難しいな……。



観光に来たくても来れない人もいるし、来る人もいる。どちらにもためになる発信方法は・・・



5年 総合的な学習の時間



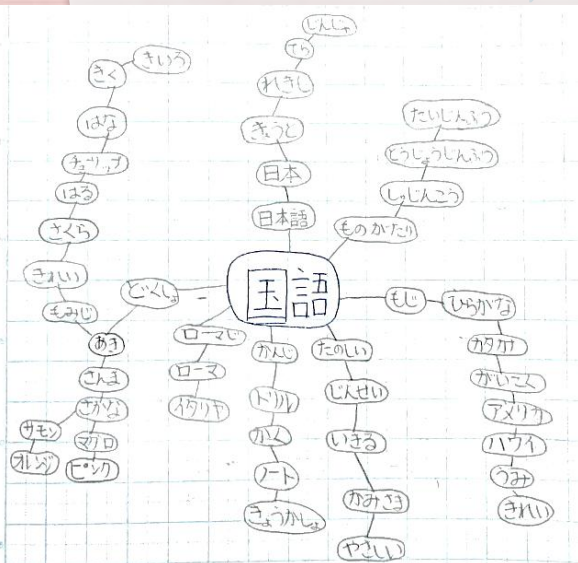
# I 研究の概要

# II 取組の具体

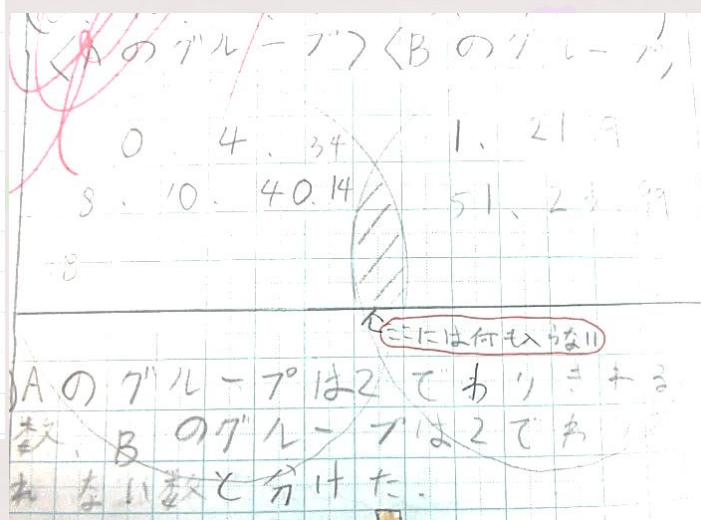
# III 研究の成果

# IV 今後に向けて

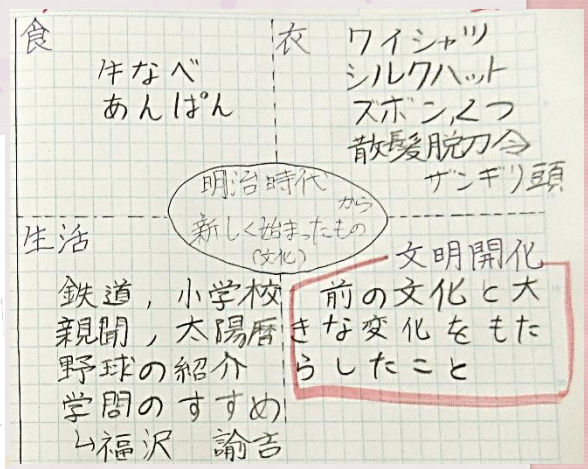
③主体的・対話的で深い学びに向かうように思考ツールの選択や活用の在り方を工夫する。



3年生 社会科  
イメージマップの活用



5年生 算数科  
ベン図の活用



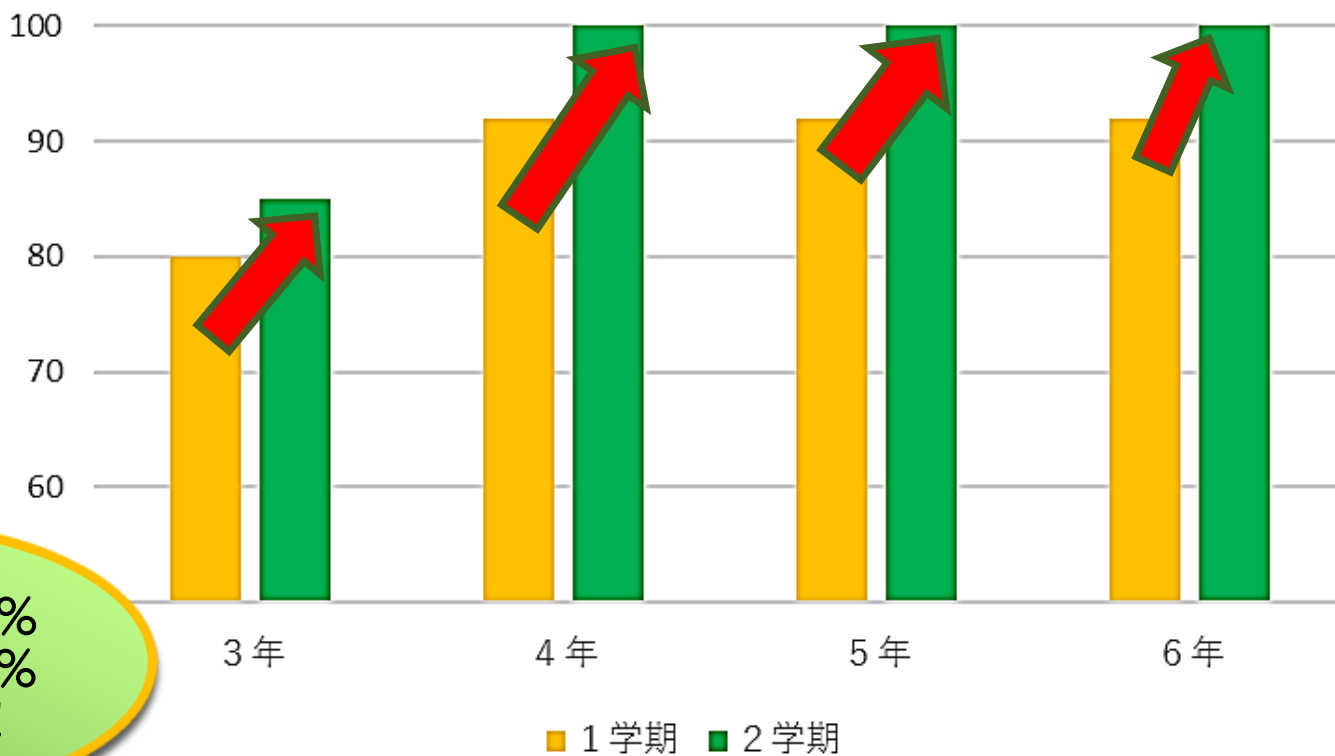
6年生 社会科  
マンダラチャートの活用

自主学习で自ら思考ツールを  
選択・活用

③主体的・対話的で深い学びに向かうように思考ツールの選択や活用の在り方を工夫する。

## 成果

「目的に応じた思考ツールの選択ができている」と回答した児童の割合

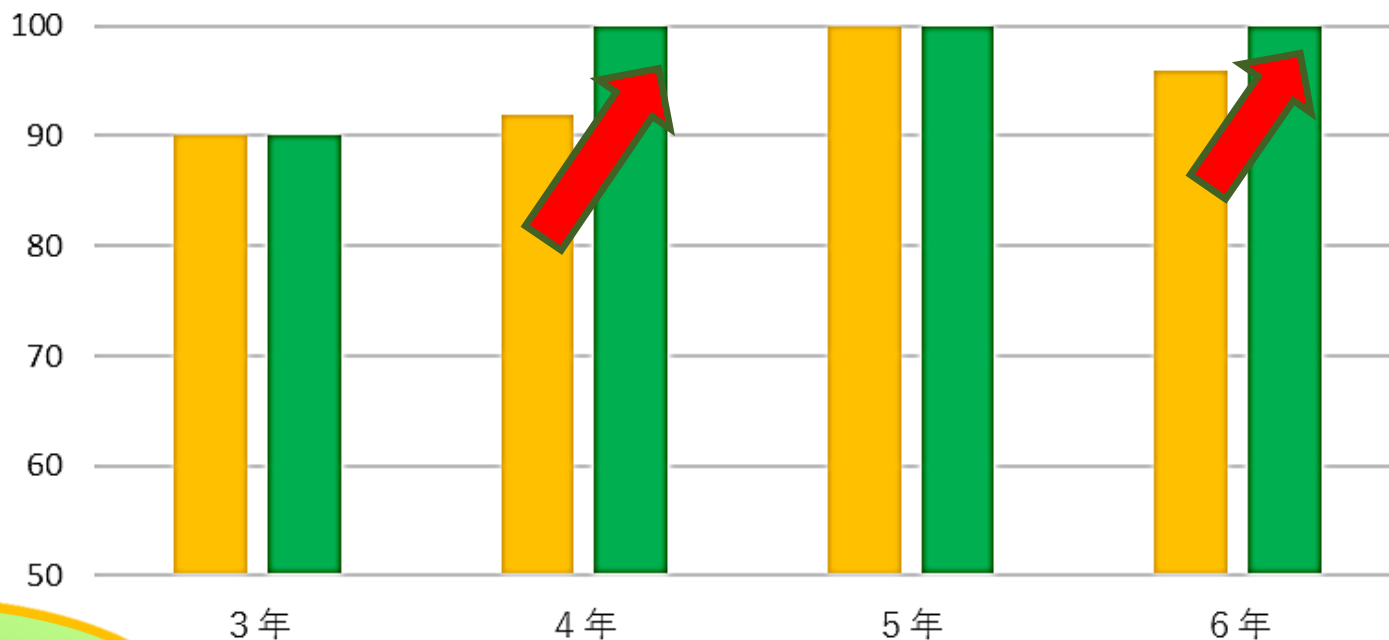


1学期 87%  
2学期 95%  
目標値達成！

③主体的・対話的で深い学びに向かうように思考ツールの選択や活用の在り方を工夫する。

## 成果

「思考ツールの有用性を感じている」と  
回答した児童の割合



1学期 92%  
2学期 98%  
目標値達成！

■ 1学期 ■ 2学期

■ 1学期 ■ 2学期

③主体的・対話的で深い学びに向かうように思考ツールの選択や活用の在り方を工夫する。

## 成果

- 主体的・対話的で深い学びに向かわせるために、「目的を明確にしたかかわり」は有効であった。
- 思考ツールの選択や活用は、子供の思考や発言を促し、その結果、かかわりの質的向上がみられた。

③主体的・対話的で深い学びに向かうように思考ツールの選択や活用の在り方を工夫する。

## 課題

- 思考ツールの活用と選択には個人差や学年差があるため、思考ツールの精選が必要である。
- 「目的を明確にしたかかわり」の実践例や具体例が少ないため、蓄積が必要である。



### ①資質・能力の評価について

- ・児童，教職員ともに資質・能力の高まりの自覚とその評価がしやすくなった。

### ②生活科・総合的な学習の時間を軸としたカリキュラムの見直し・作成について

- ・育成すべき子供の姿が明確になり，教員の授業力の向上が見られた。
- ・高まった資質・能力を活用・発揮する場面が多くなった。

### ③かかわりの質的向上を目指した授業づくりについて

- ・思考ツールの活用と「目的を明確にしたかかわり」は，子供の主体的・対話的で深い学びの実現に向けて有効だった。

### ①資質・能力の評価について

- ・振り返りの記述から資質・能力との重なりが見られた。
- ・振り返りの記述内容が固定化される傾向があった。

### ②生活科・総合的な学習の時間を軸としたカリキュラムの見直し・作成について

- ・教科等の学年を超えた縦の関連性の整理は行えていない。
- ・資質・能力を活用・発揮する場面の実践例や思考ツールの活用例の蓄積が必要である。

### ③かかわりの質的向上を目指した授業づくりについて

- ・思考ツールの活用と選択には個人差や学年差がある。
- ・「目的を明確にしたかかわり」の実践例や具体例が少ない。

# 子供たちの幸せのために ～ローマは一日にしてならず～

